



やっかんがわ

# 国営駅館川地区の概要



**MAFF**

Ministry of Agriculture,  
Forestry and Fisheries

農林水産省

九州農政局 駅館川農地整備事業所

# 01 地域の概要

## Yakkangawa

- 本地区は、大分県宇佐市の安心院盆地を中心とする中山間地域で、古来は稲作を主体としてきた純農村地帯でした。
- 年間降水量が1,600mm程度と少なく、地形も急峻なため、常に干ばつ被害にさらされる営農を強いられました。
- このため、昭和39年度～54年度に国営かんがい排水事業により日出生ダム等を築造し、安定した水源を確保するとともに、昭和41年度～55年度に国営総合農地開発事業により山林原野を開墾し、樹園地を造成しました。
- この結果、大規模なデラウェアを中心とするぶどう団地が造成され、一大産地が形成されました。



▲不安定な農業用水



▲水源を安定確保(日出生ダム)



▲デラウェアのぶどう団地

# 02 地域の課題

## Yakkangawa

国営事業完了後約40年が経過し、

- 造成された農地は狭小で急傾斜のほ場が多く、大型機械等の導入による効率的な営農が困難
- 農業従事者の高齢化が進むとともに、担い手や後継者不足も相まって、耕作放棄地が増加
- 水利施設の老朽化により管水路の漏水等が生じており、施設の維持管理に多大な費用と労力を要するとともに、農業用水の安定供給に支障等が生じています。



急傾斜のほ場



耕作放棄地の増加



管水路からの漏水

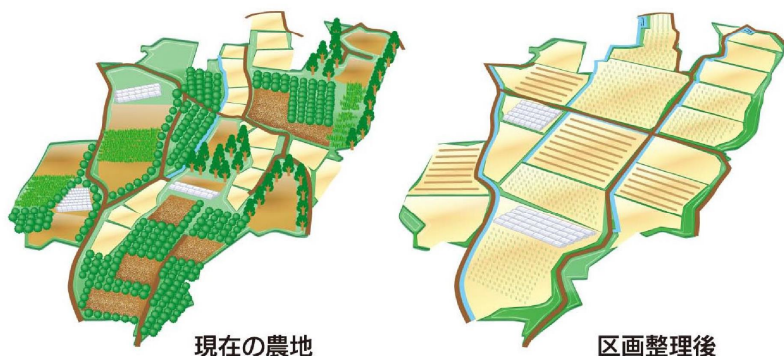
# 事業の目的

Yakkangawa

■ 本事業では、区画整理の施工により、耕作放棄地を含めた農地の土地利用を計画的に再編し、担い手への農地の利用集積を進め、併せて農業用排水を一体的に施工し、農業用水の安定供給を図ることにより、緊急的に生産性、収益性の向上及び耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化に資することを目的としています。

## 区画整理

大区画化(1区画50~100a程度で整備)



現在の農地

区画整理後

### 農地の集約(イメージ)



## かんがい施設

現状



整備イメージ



# 事業の概要

Yakkangawa

## ◆受益面積

区画整理:170ha  
農業用排水:787ha

## ◆総事業費

213億円(令和3年単価)

## ◆主要工事計画

区画整理:170ha  
用水路工: 6路線 32.9km  
揚水機場(改修):4箇所

## ◆事業期間

平成27年度 ~  
令和8年度(予定)